

平成 27 年第 10 回青森市教育委員会定例会 会議録

1 開会日時

平成 27 年 10 月 19 日（月）午後 1 時 33 分

2 閉会日時

平成 27 年 10 月 19 日（月）午後 1 時 55 分

3 会議開催の場所

浪岡庁舎 2 階 大会議室

4 出席委員

- (1) 佐藤 秀 樹
- (2) 佐藤 克 則
- (3) 石 澤 千鶴子
- (4) 斎 藤 誠 子
- (5) 池 田 享 誉
- (6) 月 永 良 彦

5 事務局出席職員

- | | |
|------------------|---------|
| (1) 理事教育次長事務取扱 | 横 山 克 広 |
| (2) 教育次長 | 工 藤 裕 司 |
| (3) 浪岡教育事務所長 | 平 田 公 成 |
| (4) 総務課長 | 八木澤 透 |
| (5) 社会教育課長 | 杉 山 潔 |
| (6) 文化スポーツ振興課長 | 木 村 久美子 |
| (7) 中央市民センター館長 | 木 浪 経 彦 |
| (8) 文化財課長 | 白 取 慎 也 |
| (9) 市民図書館長 | 渡 邊 薫 |
| (10) 学務課長 | 高 橋 光 夫 |
| (11) 学校給食課長 | 工 藤 健 志 |
| (12) 指導課長 | 石 岡 篤 実 |
| (13) 浪岡教育事務所教育課長 | 山 内 秀 範 |

6 会議に報告された案件

- (1) 報告
 - ①寄附採納について
 - ②生誕 80 周年寺山修司・澤田教一展の開催について
 - ③アートでオン！フォーラムの開催について
 - ④青森市通学路安全推進会議について
 - ⑤平和を考える集い（平和ミーティング）について

7 会議録署名委員

- (1) 石 澤 千鶴子

(2) 月 永 良 彦

8 会議の大要

午後 1 時 33 分に委員長が開会を宣言する。会期を一日とし、会議録署名委員を前項 7 のとおり指名する。

5 件の事案を報告し、閉会した。

9 会議の状況

(1) 議事

○佐藤委員長

本日は議案はございませんので、報告事項に入ります。今回の報告事項は 5 件となっております。

まず、報告 1「寄附採納について」事務局から説明をお願いします。

○総務課長

寄附採納について、御報告申し上げます。

お手元の「寄附採納一覧(平成 27 年 9 月 1 日～10 月 10 日)」を御覧ください。

まず、小・中学校への寄附となります。

No.1 ですが、篠田小学校が「青森市立篠田小学校 P T A」から学習発表会等に役立ててほしいという趣旨で『45Wハロゲンフットライト』の寄贈申し出があり受領しました。

No.2 ですが、浪打小学校が「浪打小学校 P T A」から児童の安全対策として学校管理に役立ててほしいという趣旨で『監視カメラ機器』の寄贈申し出があり受領しました。

No.3 ですが、油川小学校が「社団法人慈恵会」様から教育活動に活用してほしいという趣旨で『児童図書一式』の寄贈申し出があり受領致しました。

次に表下の小・中学校以外となります。

市民図書館が「株式会社青森電子計算センター」様から市民の多様な学習活動の推進に活用していただきたいとの趣旨で『専門図書』を、また、「大東建託株式会社」様から、子どもの読書活動の推進に活用していただきたいとの趣旨で「児童図書」の寄贈申し出があり、それぞれ受領致しました。なお、寄贈いただいた図書につきましては、約 1 か月間、寄贈者名を掲示したコーナーを設置して展示を行っております。

このたびの御厚意に対しまして、心から感謝いたしますとともに、有効に活用させていただきますこととしております。

以上でございます。

○佐藤委員長

ただ今の事務局の説明について、御意見、御質問等がございますでしょうか。

○月永教育長

今回も数点の寄附採納ということで本当にありがとうございます。PTA からは 2 校に対して学校が必要とするものをタイムリーに贈呈して頂いたことに感謝しております。それから、油川小学校の慈恵会の寄贈につきましては、今から 10 年ほど前に油川小学校の学校林を慈恵会に売買った時にそのお礼として毎年その金額の図書を寄贈して頂いているものでございます。本当にありがとうございます。また、図書館がなかなか買えない様な図書をこういう形で寄贈していただくことは、図書館として資料をそろえるという意味では本当に役立っています。今後は大いに活用して頂きたいということでの寄贈ですので本当に感謝しております。ありがとうございます。

○佐藤委員長

ありがとうございます。その他に御意見、御質問等がございますでしょうか。

～ なし ～

○佐藤委員長

それでは、報告の2「生誕80周年寺山修司・澤田教一展の開催について」これについても報告をお願いします。

○文化スポーツ振興課長

生誕80周年寺山修司展・澤田教一展の開催について、御報告申し上げます。

お手元の資料を御覧ください。

教育委員会では、今年度、「生誕80周年寺山修司展・澤田教一展 ～青森から世界へ～」を開催することとしております。

寺山修司展の事業内容については、第一弾として、本年7月12日に、青森公立大学交流会館交流ホールにおいて、劇団「演劇実験室万有引力」による演劇「奴婢一般に関する総則—『奴婢訓』初演公開ワークショップより」を上演したところ、370名の来場者があり、立見客が出るほどの好評を博したところでございます。

さらに、寺山修司氏が青森市に在住していた10代の頃に俳句に傾注していたことから、県内小・中・高校生を対象に寺山修司学生俳句コンクールを実施したところ、4,428点もの作品が集まり、11月から12月に予定しております作品展示や表彰式に向けて、現在、選者による入選作品の選定を行っているところでございます。

今後の事業内容としましては、お配りした資料のとおり、「寺山修司展 林檎の木ゆさぶりやまず逢いたきとき」におきましては、まず、12月4日に、青森市男女共同参画プラザAV多機能ホールにおいて、映画「書を捨てよ町へ出よう」の上映と、
えいめい
出演者でもあり三沢市寺山修司記念館館長の佐々木英明氏による作品解説を行うこととしております。

続いて、12月5日から12月15日まで、リンクステーションホール青森展示室、リンクモア平安閣市民ホールギャラリー等において、様々なクリエイターが寺山修司の「ことば」にインスパイアされ制作した作品や、寺山修司氏の遺稿となった「懐かしのわが家」など直筆原稿や書籍などを展示いたします。

さらに、12月12日には、青森明の星中学・高等学校明の星ホールで、寺山修司フォーラムを開催いたします。

フォーラムについては、寺山修司氏に強い影響を受けた、アートディレクターである増田セバスチャン氏をお招きし、講演会を開催するとともに、寺山修司学生俳句コンクールの入選者の表彰式及び、青森明の星中学・高等学校演劇部の学生による詩の朗読会を予定しております。

また、「澤田教一展 平和へのまなざし ファインダー越しの真実」については、11月7日から13日まで、リンクステーションホール青森展示室において、澤田教一氏の代表作であり、ピューリッツァー賞受賞作品「安全への逃避」などの作品を展示するほか、11月14日には、リンクステーションホール青森大会議室において、
とりごえしゅんたろう

自身も戦場での取材経験があるジャーナリスト鳥越俊太郎氏をお招きし、講演会を開催することとしております。なお、10月17日・18日と母校である沖館中学校の文化祭と連携し、作品パネルの展示を実施いたしました。

委員の皆様におかれましては、作品展はもちろんのこと、記念講演や上映会にも是非足を運んでくださるようお願い申し上げます。

以上でございます。

○佐藤委員長

ただ今の報告について御意見、御質問等はございますでしょうか。

～ なし ～

○佐藤委員長

それでは、報告の3「アートでオン！フォーラムの開催について」これについて事務局から説明をお願いします。

○文化スポーツ振興課長

「アートでオン！」フォーラムの開催について、御報告申し上げます。

配付資料を御覧ください。

教育委員会では、「アートで音楽のあるまちづくり方針」に基づき、アートで音楽のあるまちづくりの中心的組織「アートでオン！」とともに、10月31日（土）18時30分から、新町キューブグランパレを会場に、『「アートでオン！」フォーラム～アーツカウンシル プロローグ～』を開催することといたしました。

フォーラムの開催内容につきましては、第1部として、今年度から新たに「アートでオン！」が実施した「アートで音楽のあるまち青森 文化芸術創造活動助成事業」の、助成を受けた5団体による中間報告会を開催することとしております。

この助成事業につきましては、配付資料2にありますとおり、青森市内で行われる、「アートで音楽のあるまちづくり」の推進に資する文化芸術活動を行う青森市民（団体を含む）を対象に、限度額を50万円とし活動助成を行うものであり、本年6月28日に公開選考会を開催し、応募があった15団体のうち5団体への助成を決定しております。

次に、第2部としては、東京芸術文化評議会の評議員としてアーツカウンシル東京ひらたの設立に携わった劇作家・演出家の平田オリザ氏を講師に、「新しい広場をつくる」と題し、全国の文化政策の事例や沖縄アーツカウンシルの設立における活動状況などを御紹介いただきます。

その後、平田氏の講演を基に、本市における過去の文化芸術活動の取組の検証や、今後ひらたの本市の文化政策の方向性などについて、平田氏をはじめ市長、助成団体、アートでオン！メンバーなどによるラウンドテーブル形式の討論を行うこととしております。

委員の皆様には、是非、会場にお越しいただき、「アートで音楽のあるまちづくり」の実現に向けて、ともに青森の未来を考える時間を過ごしていただけたら幸いに存じます。

以上でございます。

○佐藤委員長

ただ今の報告について何か御意見、御質問等がございますか。

～ なし ～

○佐藤委員長

それでは、次に報告の4「青森市通学路安全推進会議について」これについても説明をお願いします。

○学務課長

青森市通学路安全推進会議について、御報告申し上げます。

お手元の資料を御覧ください。

本会議につきましては、今年3月に策定いたしました「青森市通学路交通安全プログラム」に基づき、各学校の通学路について合同点検を実施した危険箇所の具体的な対策と、積雪期の対応について検討することを目的として、去る9月29日に国・県・市の道路管理者をはじめ、警察関係者、小・中校長会など13機関から18名が出席し、開催したところです。

それでは、会議の概要について御説明いたします。

まず、(1)の合同点検実施箇所の対策につきましては、今年度当初に小・中学校に対し通学路の危険箇所の点検要望について照会したところ、10校から14箇所が提出されました。そのうち、合同点検が必要と判断した6箇所について状況を確認し、対策を検討しました。

まず、①の浦町小学校から要望があった押しボタン式の信号機の設置につきましては、交差点信号が近いことから、信号機の設置は困難であるものの、車両の運転手が横断歩道を認識しやすくするため、横断歩道を示す標識を、より横断歩道に近い場所に移設することとし、また、走行する車両の速度を低下させるため、南北の交差点にある信号機の青色のタイミングの変更についても検討することとしました。

次に、②の新城小学校から要望があった石上（いしがみ）踏切近くの区間への歩道の設置につきましては、設置は困難であることから、道路西側に外側線を引いて歩行ス

ペースを確保することといたしました。

また、③から⑥の浜田小学校の各箇所につきましては、それぞれ資料に記載のとおり、合同点検により把握した現地の状況を踏まえ、具体的な対策の実施について外側線や信号機の設置等を検討いたしました。

次に、(2)の積雪期の対応につきましては、昨年度の冬季休業後の始業式に向けた除雪対応の実績を踏まえ、今年度の積雪期における対応について検討しました。具体的には、

①の始業式への対応については、各学校から除雪要望を提出する時期を、昨年度より早めて、第1次として1月8日、第2次として1月13日までとしました。

それ以外の期間については、②のとおり、学校は随時除雪要望を提出し、個別に対応することといたしました。

③の除排雪に係る関係機関の連携につきましては、国・県・市の道路管理者が連携してそれぞれの除雪スケジュールを共有し、除雪作業の連携などについて今後検討することとしました。

今後につきましては、10月の中旬を目処に、合同点検箇所の対策一覧及び箇所図を市ホームページで公表し、また、2月に第2回通学路安全推進会議を開催する予定としており、各関係機関と連携しながら、通学路の安全確保に努めて参ります。

以上でございます。

○佐藤委員長

ただ今の報告について何か御意見、御質問等はございますか。

～ なし ～

○佐藤委員長

それでは、次に報告の5「平和を考える集い（平和ミーティング）について」これについても事務局から御報告をお願いします。

○指導課長

平和を考える集い（平和ミーティング）について、御報告いたします。

去る10月6日（火）青森市立南中学校を会場に、生徒とその保護者等、約900名が一堂に会した「平和を考える集い（平和ミーティング）」を開催しました。

はじめに、8月8日・9日に長崎市で行われた青少年ピースフォーラムに参加した、青森市初の平和大使の中学生4名による体験報告がありました。大使たちは、被爆体験者の講話や、原爆被害の爪跡を残す建築物等の見学で実感した戦争のむごさや悲惨さを、スライドを通して報告しました。

次に、前の教育委員である西村恵美子さんによる戦争を題材にした作品「おとなになれなかった弟たちに・・・」の朗読と、青森空襲体験者である富岡せつさんのお話がありました。生徒の中には、固唾を吞んで話に聞き入る者や、目頭をぬぐう者もいました。

これらの報告や体験を聞き終えた、生徒の主な感想発表には、

・自分が読んでいる詩集に「この世で最も醜いものは戦争である」とあったが、この集会に参加して自分も同じように思った。他者の考えを尊重して、助け合う心を広めていくことが自分たちの努めだと感じた。

・戦争は怖く、原爆は残酷なものだと思った。恐怖だけで戦争がなくなるので、平和のためにどうしていけばいいのかみんなで考える必要がある。今日はその一歩となった。

などの感想がありました。

続いて、平和コンサートとして、南中学校合唱部が「夏の思い出」「花の街」などの合唱を披露しました。

最後に、教育長と平和大使が、平和の大切さを多くの人に語り継ごうという趣旨のメッセージを、代表生徒に手渡しました。

今後、各校では、そのメッセージに込められた、戦争は絶対に起こさないとする理念に加えて、当集会の内容や参加者の感想などを、全校集会や学習発表会・文化祭、学校だよりやホームページなどを通して、全校生徒及び保護者、地域住民に伝えることとしていま

す。

今後も、事務局では、本市・青森の児童生徒の平和に対する意識を高める取組を推進し、平和を次世代につなぐ担い手を育てていきます。

以上でございます。

○佐藤委員長

ただ今の事務局の報告について何か御意見、御質問等はございますか。

○月永教育長

10月6日の「平和を考える集い」は、本当にみなさん御協力ありがとうございました。8月22日に青森市でアウガにおいてこの平和の集いを開催したわけですが、その時に平和大使である中学生からすばらしい体験報告がありました。しかし、それを聞いている小学生や中学生は一人も居なくて、私たちは、やはり戦後70年、青森空襲70年という区切りの年を機会に、政治的なものや思想的なものは抜きにして、戦争の無い世界、そして平和に向かう子どもたちの意識というものを醸成して伝えていくことは大事なのではないかということで、今回は敢えて青森市南中学校を会場に会合を開いて、行ったものです。今指導課長の話にあったとおり、本当に900人近い子どもたちが固唾を飲んで目頭を拭く場面もありました。本当に富岡せつさんの戦争実体験や西村さんの朗読もいいお話で、朗読の内容は、米倉 斉加年（まさかね）さんの実際の弟さんを戦争中に亡くした、その時のお話だったのですが、それも子ども達の心に響いたようです。これを、私たちは淡々と伝えていく必要があるのではないかということで、来年以降についてはまだ検討しておりませんが、何とかこういったものを私たちは伝えていきたいと思っております。

なお、全中学校から何名かずつ参加してもらって、最後に感想を4人の人に話してもらったのですが、その感想もすばらしいもので、中学生はここまでしっかりものを考えられるのだということも私たちは認識し、そして、全部の学校の中学生が来てそれを各学校に持ち帰って、この集会に参加出来なかった人たちに伝えていく、そして学区の小学生、大野小学校と浜田小学校と長島小学校の子どもたちにも来ていただきましたので、小学校もまた、話を学校へ持ち帰っていくということで伝わっていけばいいなと考えています。

私達が考えていた以上に、子どもの力はすごいと感じてこの大会を閉じることができました。

本当にありがとうございました。

○佐藤委員長

ありがとうございました。

本当に大切な集いであったような気がします。

(3) その他

○佐藤委員長

その他、本日の案件以外に、委員の皆様の方から何かございませんか。

～ なし ～

それでは、本日本日予定しておりました報告が全て終了致しました。

以上を持ちまして、平成27年第10回青森市教育委員会定例会を終了といたします。

ありがとうございました。

平成 27 年 10 月 19 日開催の平成 27 年第 10 回青森市教育委員会定例会の会議録を作成した。

平成 27 年 11 月 10 日

書 記 藤 田 剛

上記のとおり相違ないことを認め署名する。

平成 27 年 11 月 10 日

署名委員 石 澤 千鶴子

署名委員 月 永 良彦